

堤防の詳細点検

- 河川堤防は、長い歴史の中で順次拡築されてできた構造物であり、時代によって築堤材料や施工方法が異なるため、堤防の強度が不均一であり、しかも、その分布が不明瞭であること、基礎地盤自体が古い時代の河川作用によって形成された地盤であること等から、洪水時の浸透による破堤の危険性を有しています。

また、既往の被災事例をみても、計画高水位以下の洪水でも漏水など構造上の課題となる現象が数多く発生しています。

そのため、堤防の浸透に関する安全性の点検を緊急的に行うこととしました。

今後は、堤防詳細点検結果を水防団や関係住民と情報共有を図り、水防活動への一助として活用して頂ければと考えています。

- 平成19年3月までの堤防詳細点検結果の状況について報告します。
- 堤防詳細点検の結果、安全度が特に低くかつ被災履歴のある箇所について優先的に対策を実施する予定箇所も併せて示しています。
- 今後も堤防詳細点検を進めていきます。
- 問い合わせは、下記までお問い合わせ下さい。

問い合わせ先：国土交通省 熊本河川国道事務所 調査第一課

堤防の詳細点検

これまでの堤防整備

○堤防の量的整備の実施

- ・これまでの、堤防がない区間での築堤、幅や高さが不足している区間での拡幅や嵩上げを優先的に実施。
- ・一方、過去に築造された堤防は、戦後十分な管理ができずに急遽造られたことなどから、十分な強度を有しないものもあると考えられる。

堤防の点検

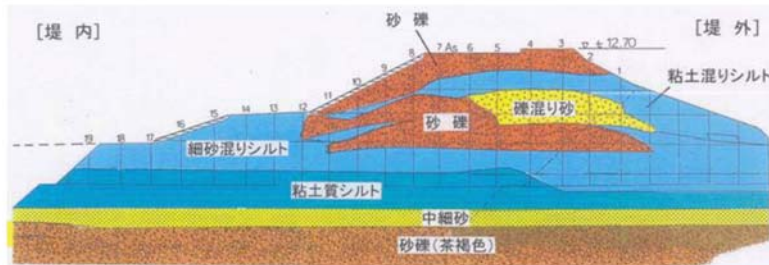
○堤防の点検の実施

- ・既存堤防の安全を確保するため、浸透に対する安全性の調査を九州の国管理区間の内、約1,300kmの既存堤防を対象に実施。
- ・H18年度末までに約480kmの区間の点検を実施。
- ・この結果、点検済み区間のうち約180kmにおいて、堤防強化が必要。
- ・なお、点検は平成21年度までに完了させる予定。

これからの堤防整備

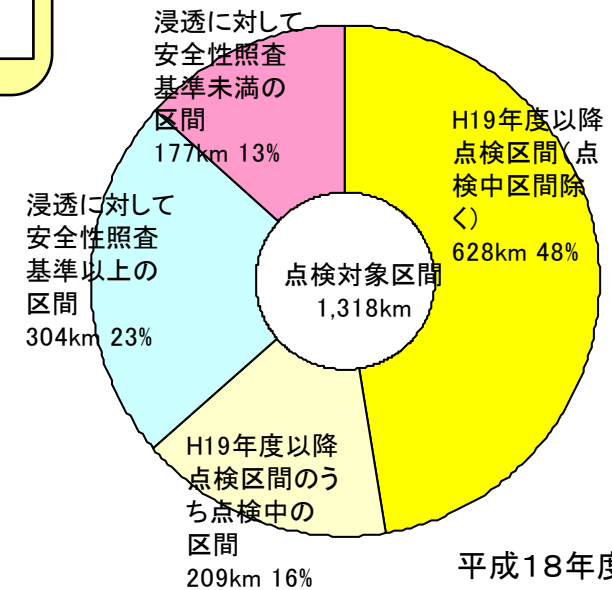
○質的強化の計画的な推進

- ・堤防の点検結果を踏まえ、堤防の安全性が不足している箇所については積極的に堤防強化を進める予定。
- ・また、質的強化の実施までの間、効果的な水防活動の推進を図るため、堤防詳細点検結果を水防管理団体等の共有化



堤体材料イメージ図

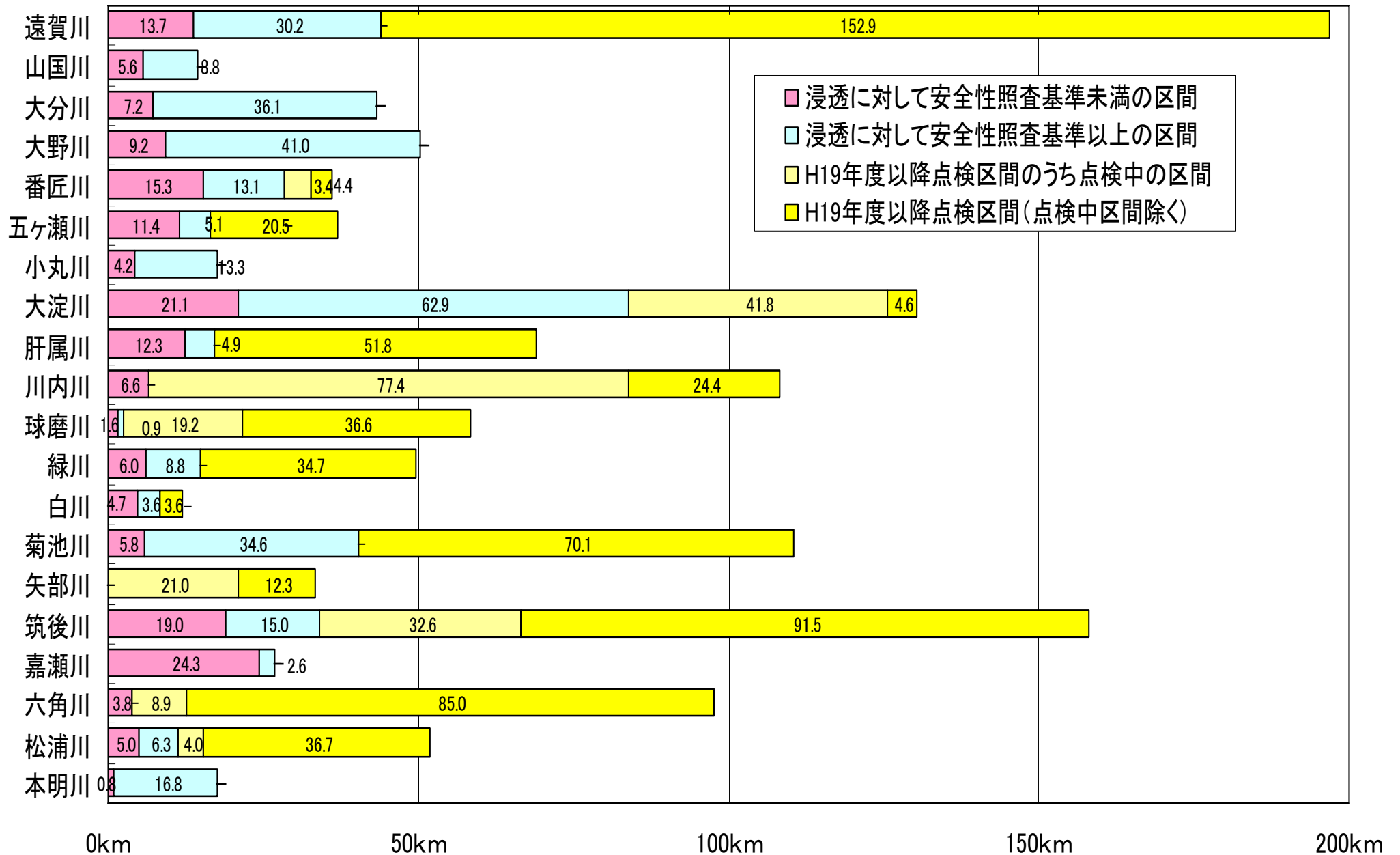
浸透に対する堤防点検の実施状況(km)
〔九州地方整備局〕



平成18年度末現在

堤防の詳細点検の実施状況

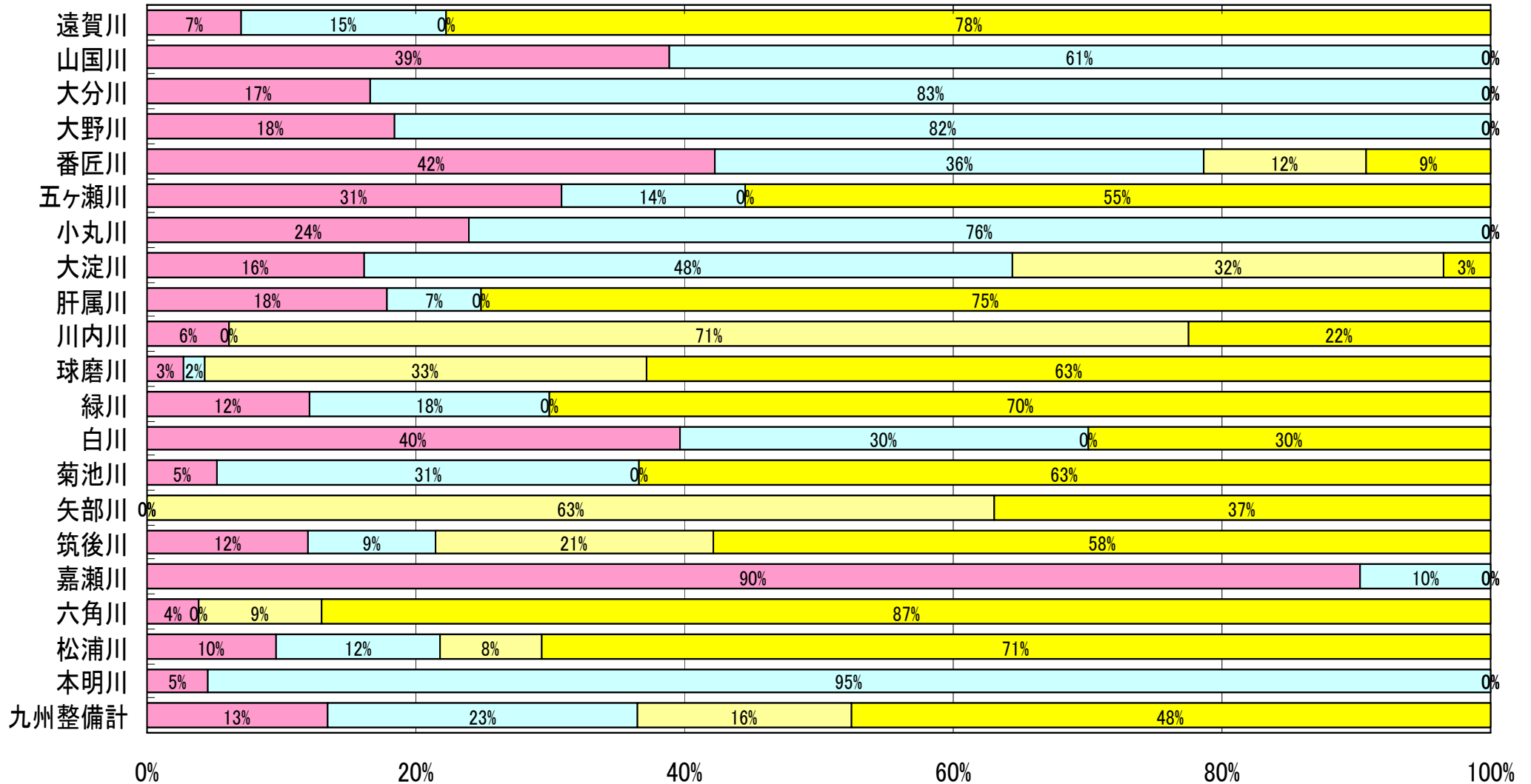
平成19年3月末現在



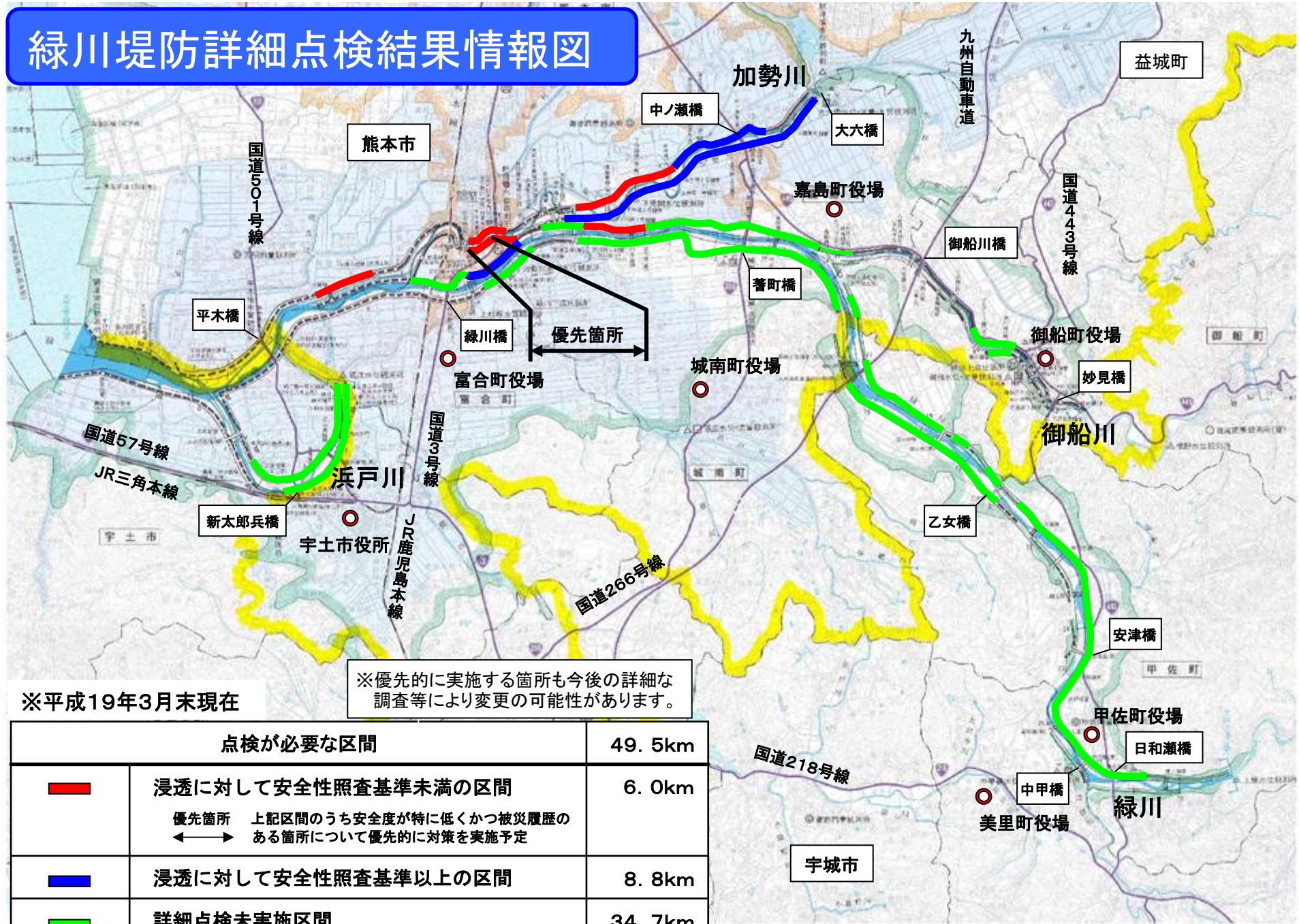
堤防の詳細点検の実施状況

- 浸透に対して安全性照査基準未満の区間
- 浸透に対して安全性照査基準以上の区間
- H19年度以降点検区間のうち点検中の区間
- H19年度以降点検区間(点検中区間除く)

平成19年3月末現在



緑川堤防詳細点検結果情報図



※平成19年3月末現在

※優先的に実施する箇所も今後の詳細な調査等により変更の可能性あります。

点検が必要な区間		49.5km
■	浸透に対して安全性照査基準未満の区間 優先箇所 ←→ 上記区間のうち安全度が特に低くかつ被災履歴のある箇所について優先的に対策を実施予定	6.0km
■	浸透に対して安全性照査基準以上の区間	8.8km
■	詳細点検未実施区間	34.7km

白川堤防詳細点検結果情報図

